



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

毎号閲覧者数
50名以上を
目標に頑張っ
ています！



西郷小学校

令和元年 第29号

令和元年 10月15日

文責 校長 田中裕子

もみじまつり大盛況～♪

お陰様で連日たくさん子ども達が参加してくれました。少しでも図書室の利用や読書量増加につながればと思います。担当の久野先生、石田先生、図書委員の皆さん、ありがとうございました！！

もらったしおり等は大切に使いましょうね！



1年1組で研究授業をしました

8日5校時に、1年1組でたしざんの学習の研究授業が行われました。たくさんの先生方が見にいらっしやると言うことで、最大限の盛り上がり。興奮気味の子ども達の気持ちを上手に切り替えた坂口先生。自然に授業に入っていました。

良いところがたくさんあったのですが、特に良かったことは、全員自分の考えをノートに表現していたことです。1年生のこの時期は、国語等でも自分の気持ちを書く学習が増えてきますが、算数でも、思考したことを表記することが求められます。確実にその力がついていることを実感した授業でした。また、二人ペアで話す時間では、自分の考えを隣の人に話すことを時間内にもつようにしていますがそれも全員ができていました。

残り半年で、子ども達がどこまで伸びていくか楽しみです。



<ペアトークで考えを言います>



<指さしながら説明しています>

あおぞら学級で研究授業をしました

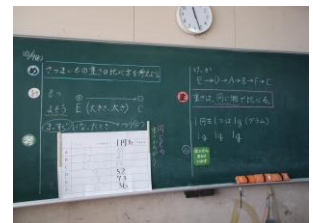
9日3校時に、あおぞら学級で重さをはかる学習の研究授業が行われました。育てて収穫したサツマイモをスイートポテトにしようということで、調理をするには正しく重さを量らなくてはならないということから、重さのかり方を考えるという必然性そしてストーリー性のあるめあてから出発しました。

最初はビー玉やおはじきを使って量りましたが、比較できないことから「同じものを使わないとわからない」という発言があり、1円玉を使って量ることになりました。3つのお芋を1円玉で一つずつ量るのではなく、一つ量った後、そこに1円玉を足して量るという場面も見られました。

最後は、「1円=1g」を学び、これで料理ができると次時への期待がふくらむ終末となりました。子ども達が、自分で天秤を使って重さを量ることで、量感を知ることやものを使って間接比較ができることなど、たくさんのことを学べた1時間でした。



<おもいの大きさからの導入>



<構造的な分かりやすい板書>

～朝の読み聞かせボランティア募集中です～

水曜朝の8:20～40の間で、本を1冊教室で読んでいただいています。どのクラスでも、静かに耳を傾ける姿が見られます。現在、6～7名の方がおいでくださっています。ぜひ、月に1度でも大丈夫です。おいでくださる方を募集しています。ご連絡お待ちしています。

連絡窓口 教頭 52-3215



